

2022年度第2四半期 決算説明資料

2022年8月4日

株式会社太陽工機
(証券コード:6164)

決算説明動画配信：2022年8月9日（火）16時～
（配信元）当社ホームページおよびモーニングスター(株)

1



第2四半期
決算概要

2



経営戦略・
トピックス

Financial Results

第2四半期 決算概要

受注高

60.9 億円 前年同期比 + 78.8 %

- ▶ 中国が復調し日本は好調維持。業種別では、建機と半導体が貢献し月平均10億円超で推移。通期は114億円(最低ライン)へ増額修正

売上高

43.7 億円 前年同期比 + 54.7 %

営業利益

4.8 億円 前年同期比 + 3.7 倍

営業利益率

11.1 % 前年同期比 + 6.5 p

- ▶ 上期(1-6月期)は、受注好調により前年同期比で大幅な増収・増益。通期は売上高90億円、営業利益11.5億円(営業利益率12.8%)を計画

年間配当

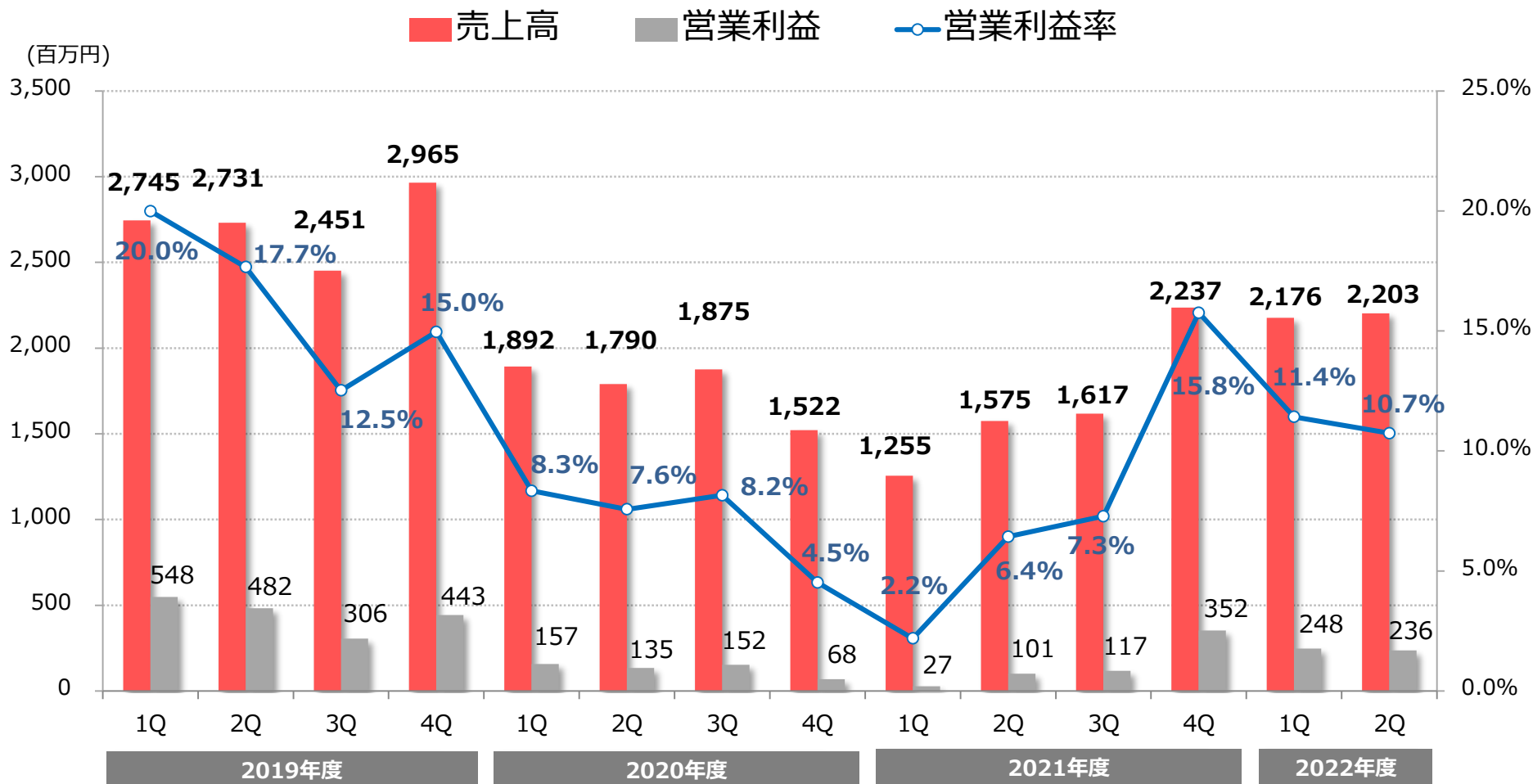
1株あたり 40 円 (前期より10円増配)

- ▶ 中間配当 20円／期末配当 20円(予定)
配当性向30%を目安として、持続的な増配を目指す

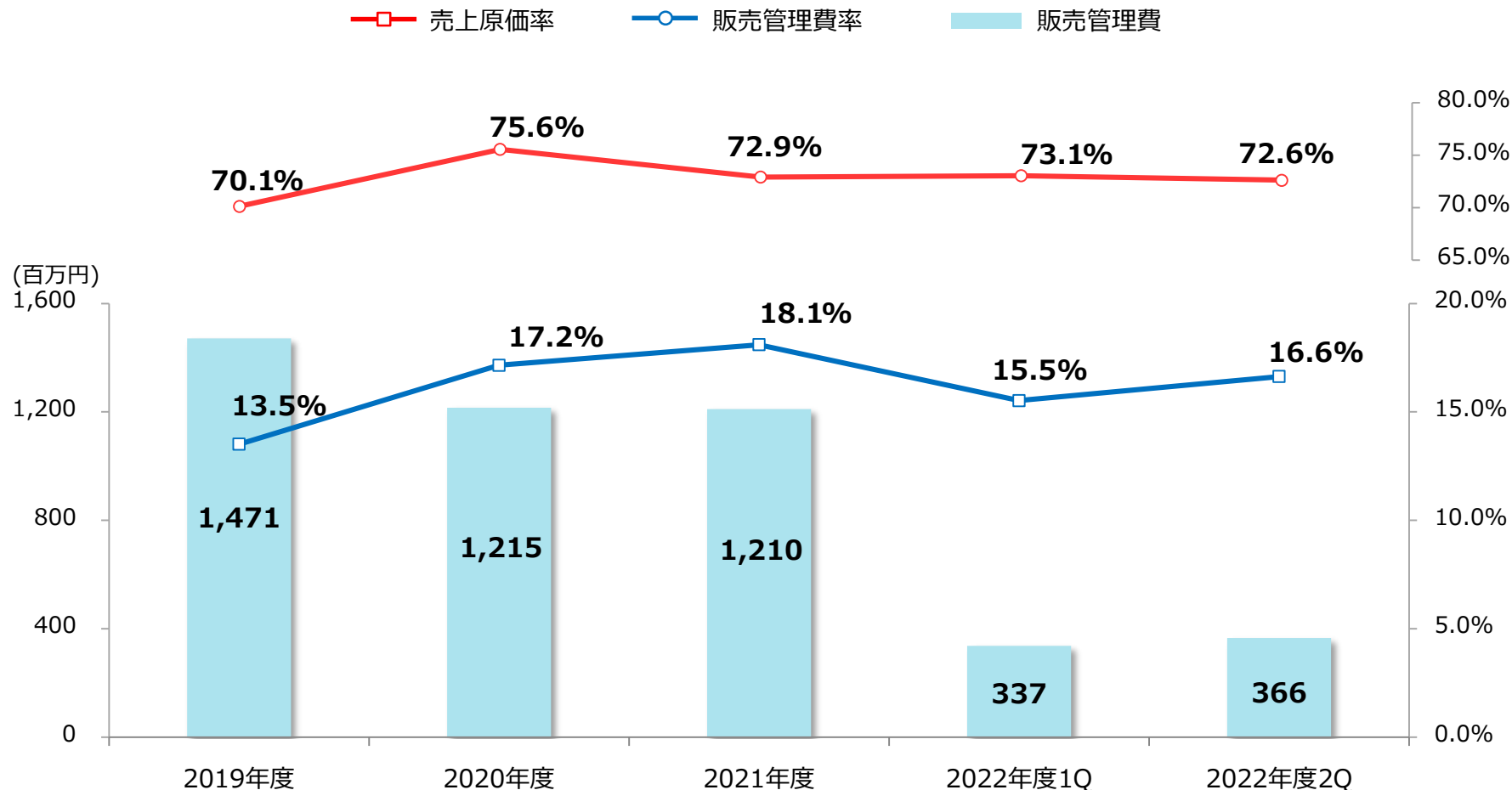
受注・売上は前年同期を大きく上回り、営業利益が大幅増

(百万円)	2Q (1-6月)		前年同期比
	2021年度	2022年度	
受 注 高	3,408	6,094	+ 78.8%
売 上 高	2,831	4,379	+ 54.7%
営 業 利 益	129	485	+ 3.7倍
営 業 利 益 率	4.6%	11.1%	+ 6.5p
経 常 利 益	185	486	+ 2.6倍
当 期 純 利 益	123	328	+ 2.7倍

期初の受注残をこなして、営業利益率10%以上確保



原価率は改善、リース資産買取費用で販管費が一時的に増加

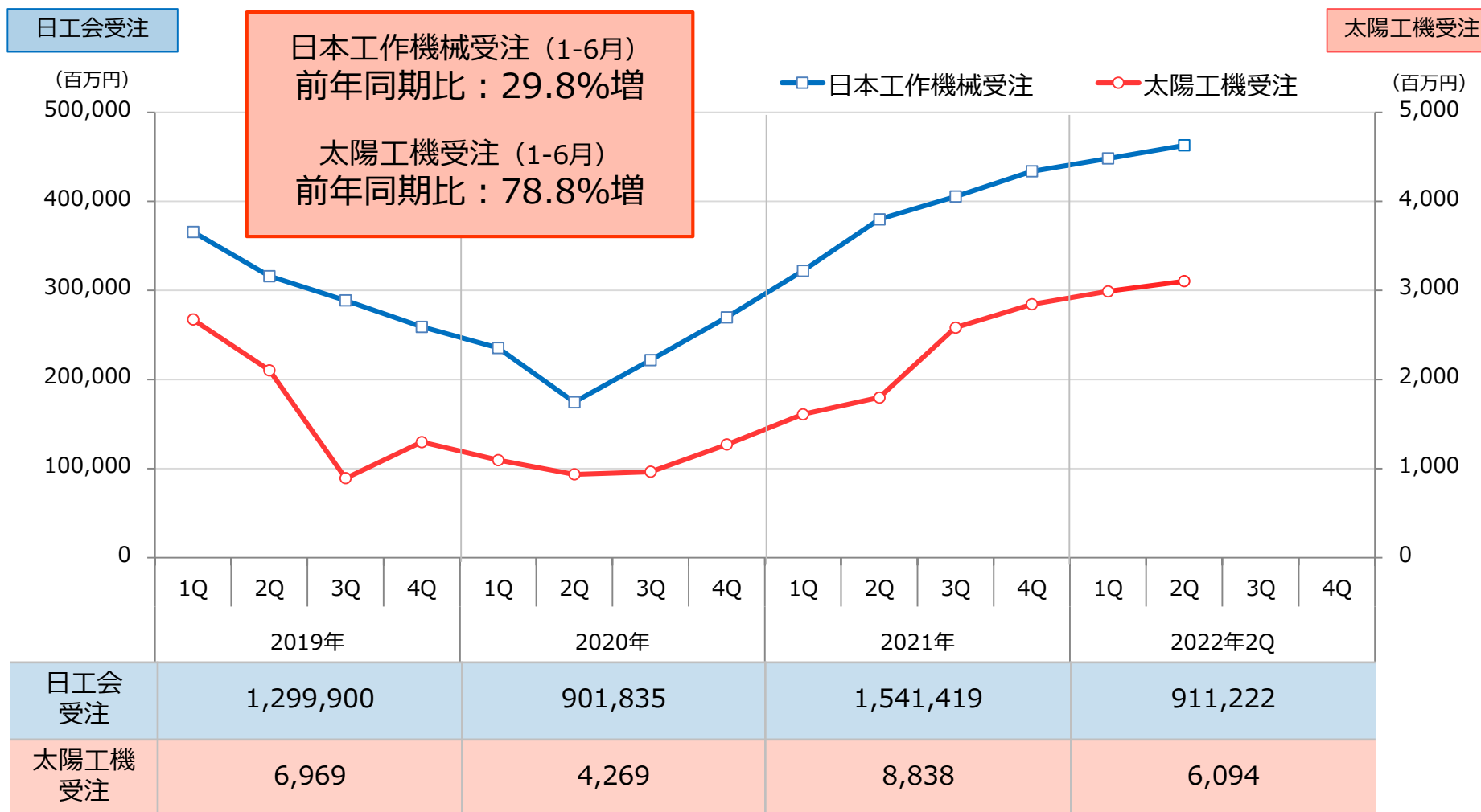


リース資産(現本社工場)買取により、一時的に現預金が減少

(百万円)	2021年度 12月31日	2022年度 6月30日	増減
資産の部			
流動資産	6,790	5,790	▲ 999
現金及び預金	2,458	1,183	▲ 1,274
売掛金	2,078	1,997	▲ 81
棚卸資産	2,171	2,565	393
その他流動資産	81	44	▲ 37
固定資産	1,129	2,359	1,229
建物	439	768	329
土地	312	1,177	864
その他有形固定資産	152	164	11
無形固定資産	54	100	45
繰延税金資産	100	122	22
投資その他資産	69	25	▲ 43
資産合計	7,920	8,150	229

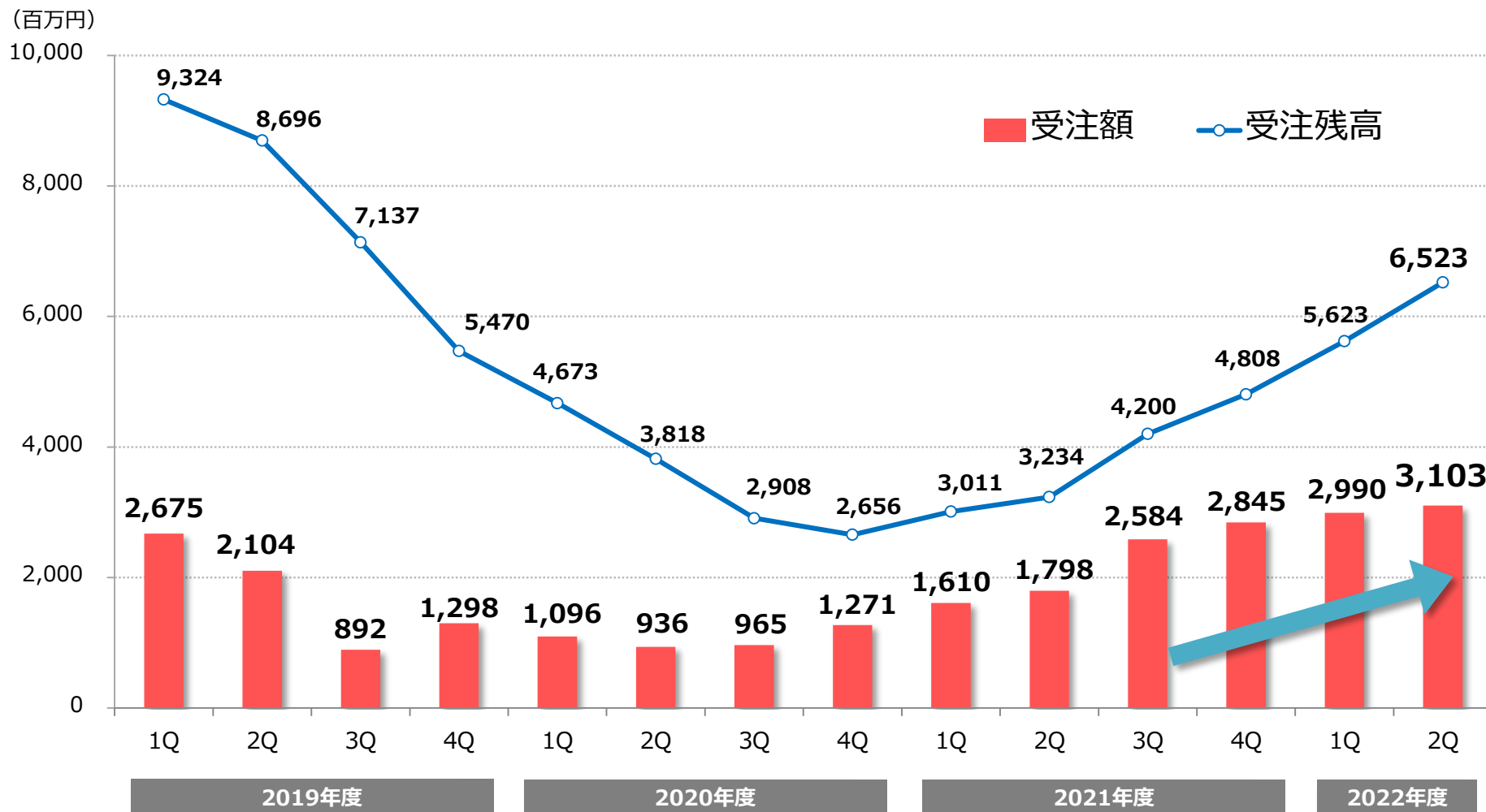
(百万円)	2021年度 12月31日	2022年度 6月30日	増減
負債純資産の部			
流動負債	1,353	1,336	▲ 17
買掛金	391	519	128
リース債務	268	0	▲ 268
未払法人税等	153	197	44
製品保証引当金	68	111	43
その他流動負債	472	508	35
純資産	6,566	6,814	247
株主資本	6,566	6,814	247
負債純資産合計	7,920	8,150	229

当社の受注は増加し、好調持続



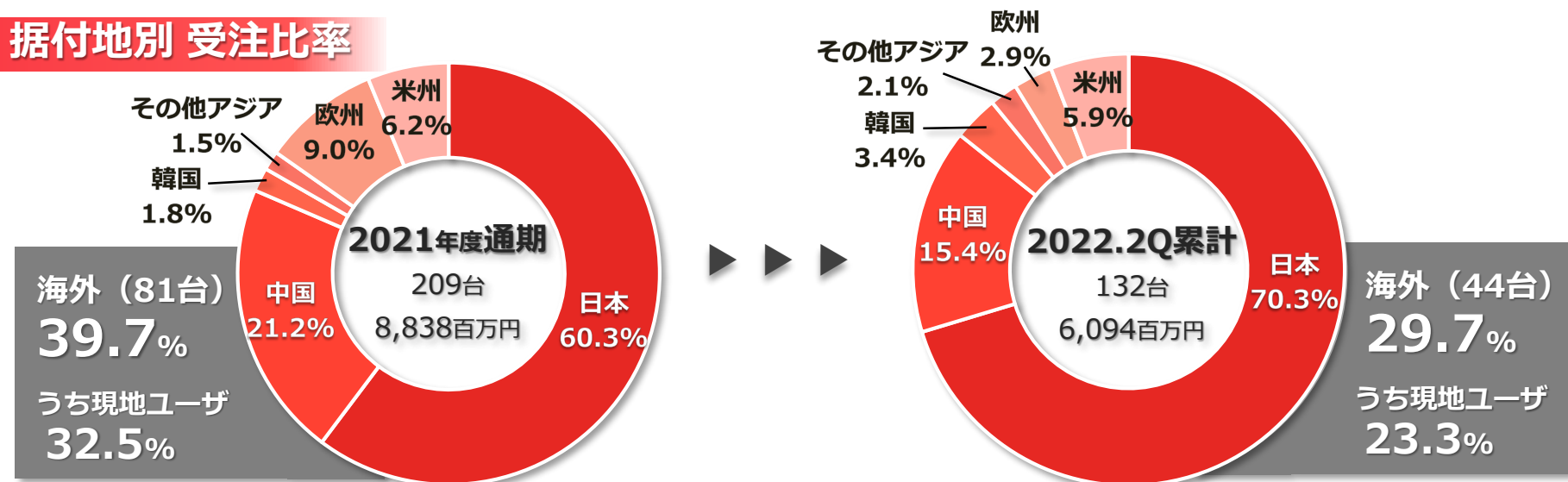
※日本工作機械受注…日本工作機械工業会受注実績より

受注残高増加により、下期以降の売上分確保済



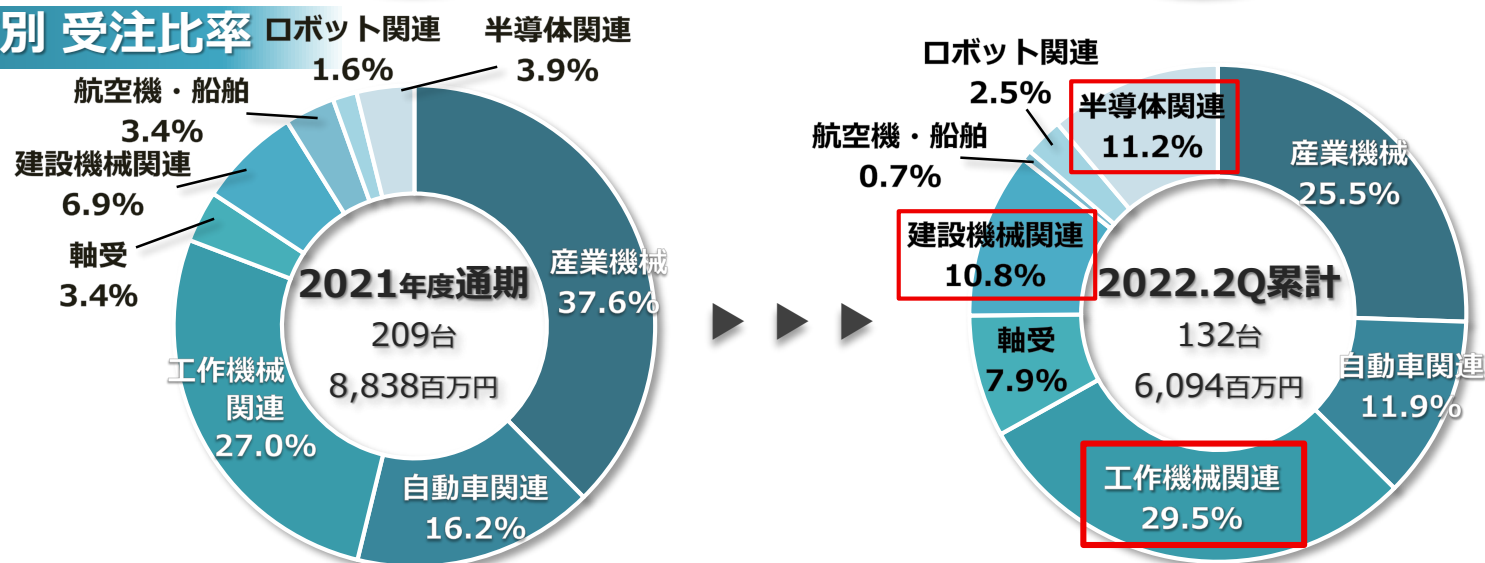
工作機械と建設機械、半導体関連が好調

据付地別 受注比率



業種別 受注比率

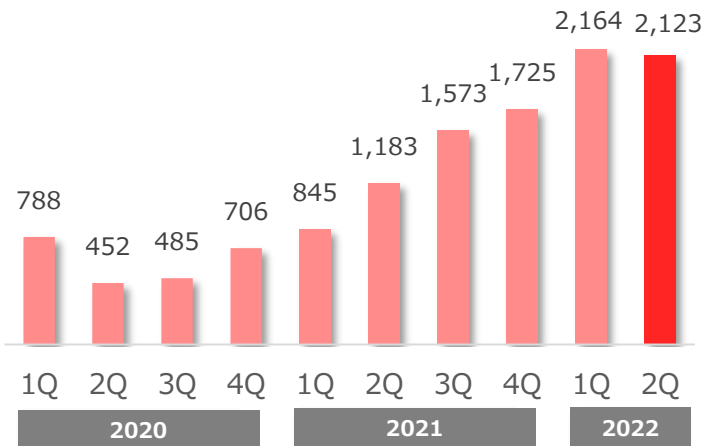
ロボット関連 半導体関連



日本が好調維持、中国は建機が好調により急回復

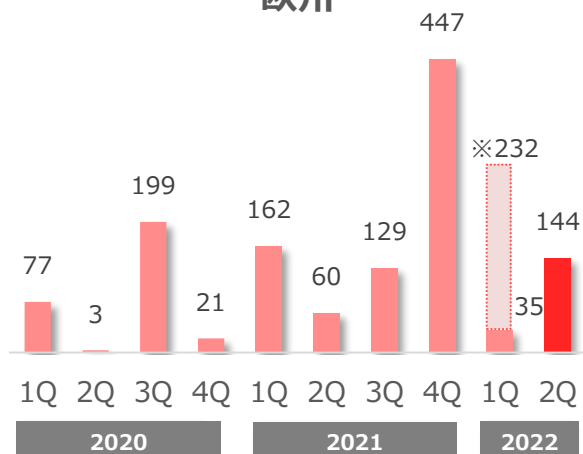
受注高
(百万円)

日本

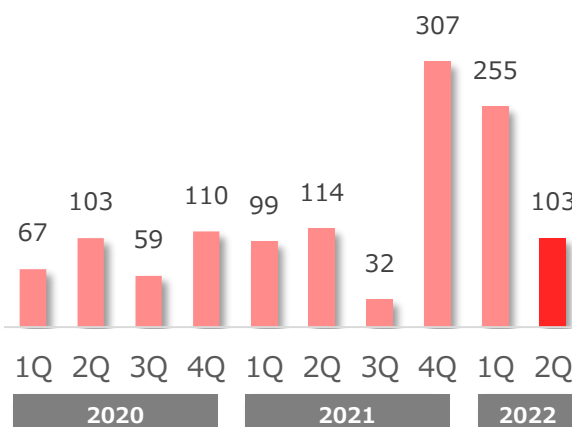


- 日本市場：高水準を維持
- 中国市場：1 Q比で2倍に増加、好調
- 米州市場：やや減少するも、堅調維持
- 欧州市場：堅調維持

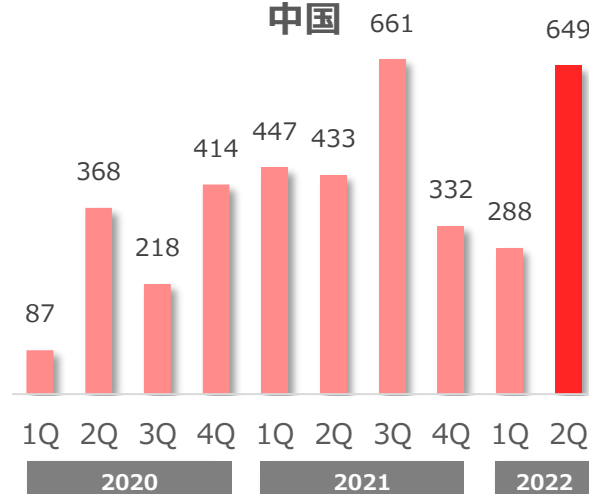
欧州



米州



中国



※ロシア・ベラルーシ向け受注残キャンセル197百万円

日・欧・アジアが強含み／半導体が好調、産業機械は復調

地域別

減少傾向 ← 変動なし → 増加傾向



日本



欧州



米州



中国



アジア

※中国を除く



業種別

減少傾向 ← 変動なし → 増加傾向



半導体



ロボット



自動車関連



工作機械関連



産業機械全般

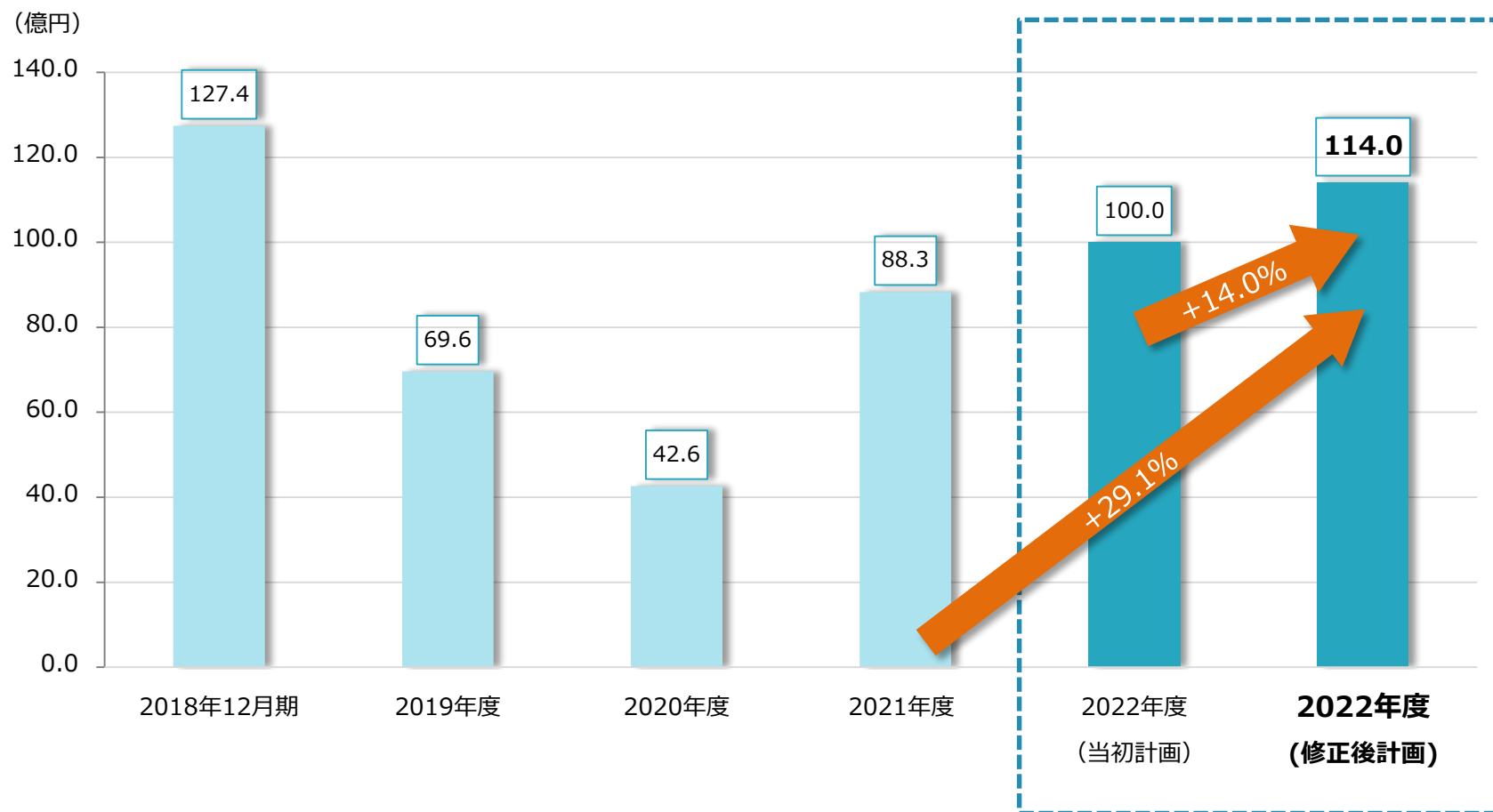


※ いずれも2022年度3Qの当社受注予想（2022年度2Qと比較）

受注を増額修正、売上・利益は当初計画通り

(百万円)	通期(1-12月)			
	2021年度 実績	2022年度 計画		
		当初計画(①) 2022.2.10公表	修正後(②) 2022.8.4公表	増減(②-①)
受 注 高	8,838	10,000	11,400	1,400
売 上 高	6,687	9,000	9,000	—
営 業 利 益	599	1,150	1,150	—
営 業 利 益 率	9.0%	12.8%	12.8%	—
経 常 利 益	652	1,150	1,150	—
当 期 純 利 益	441	780	780	—

受注好調で当初計画100億円 ⇒ 114億円へ



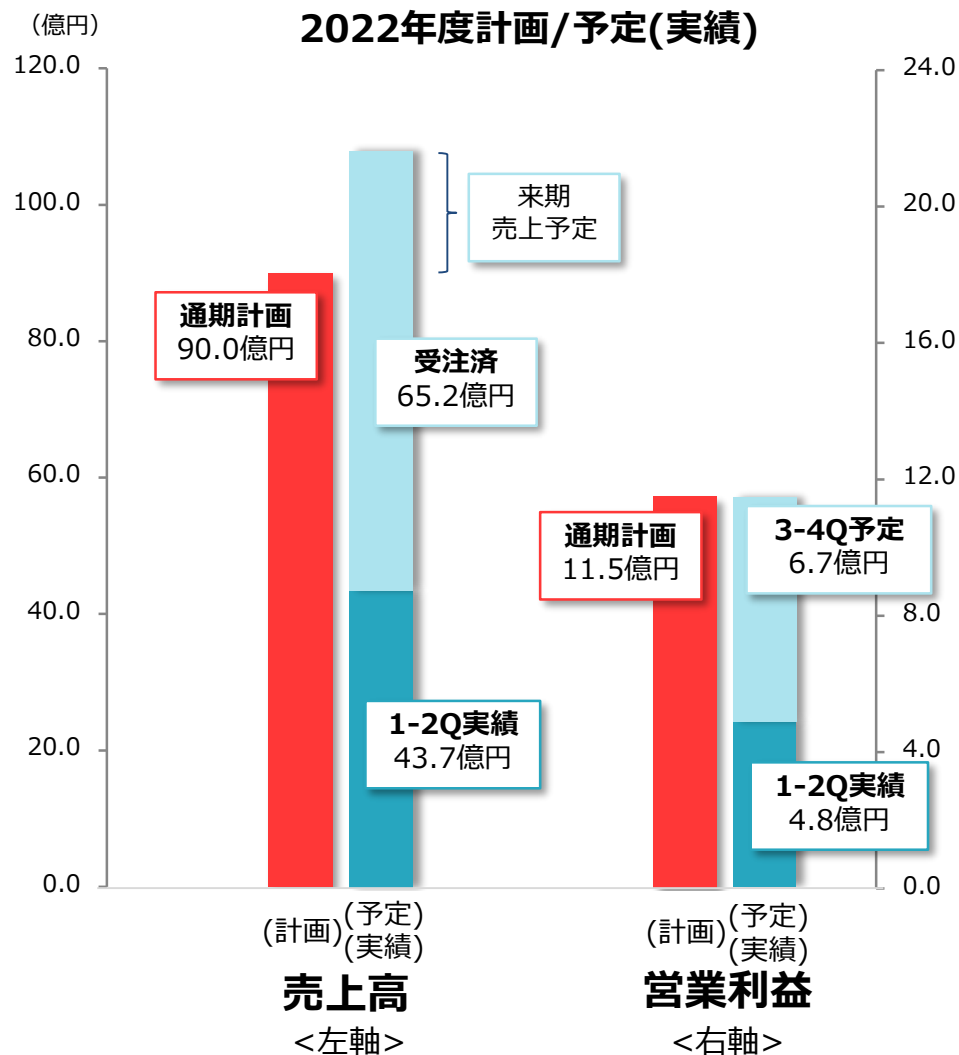
通期売上計画分は既に受注済、下期で生産・売上へ

売上高

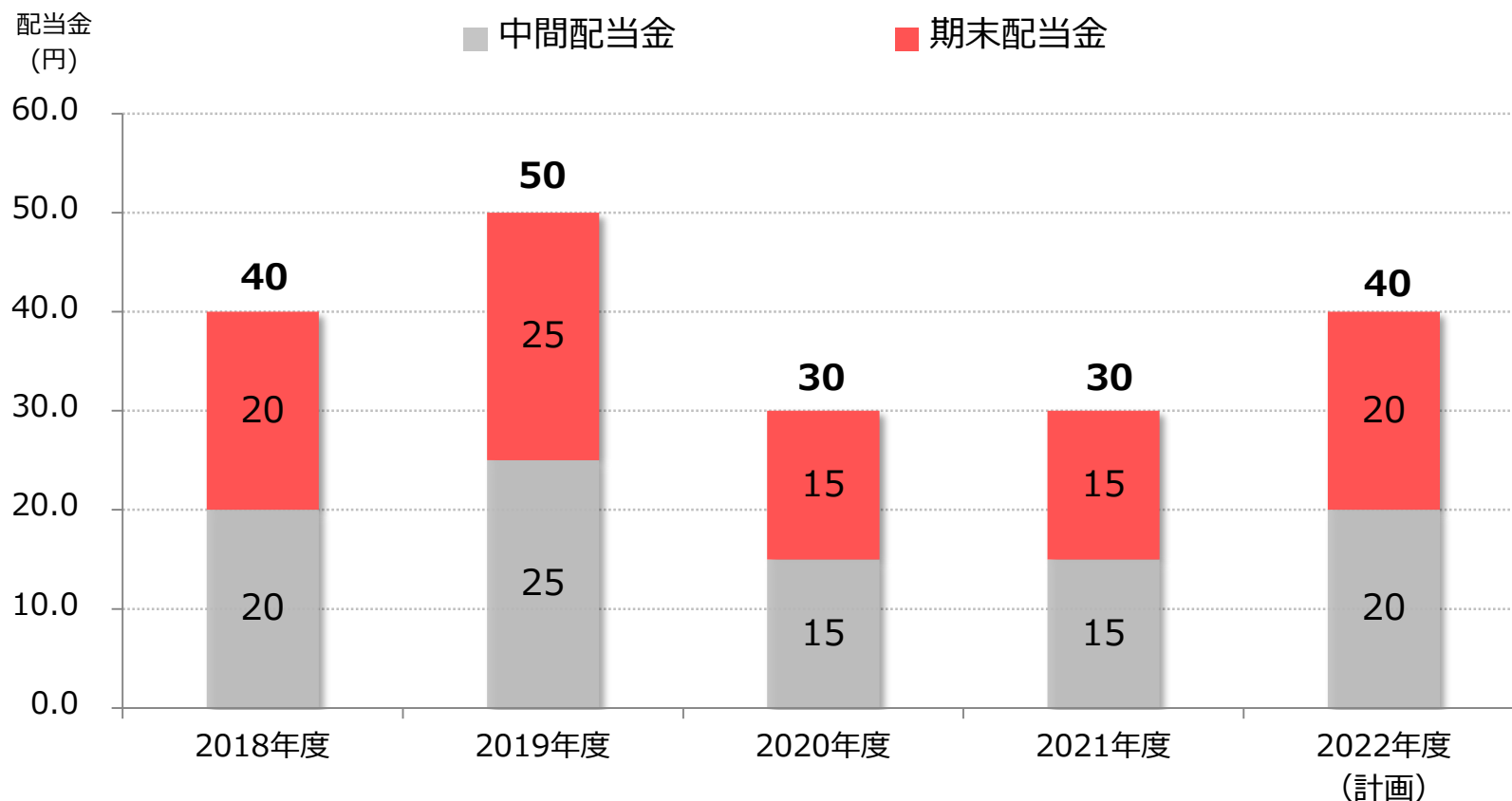
- ・ 上期：進捗率48.6%
- ・ 下期計画46.3億円分は既に受注済

営業利益

- ・ 上期：進捗率42.2%
(営業利益率11.1%)
- ・ 下期計画分はロット生産で生産効率アップし利益率改善見込み



2022年度は10円増配し、年間配当40円を計画



配当性向

20.4%

24.2%

51.6%

40.0%

30.0%

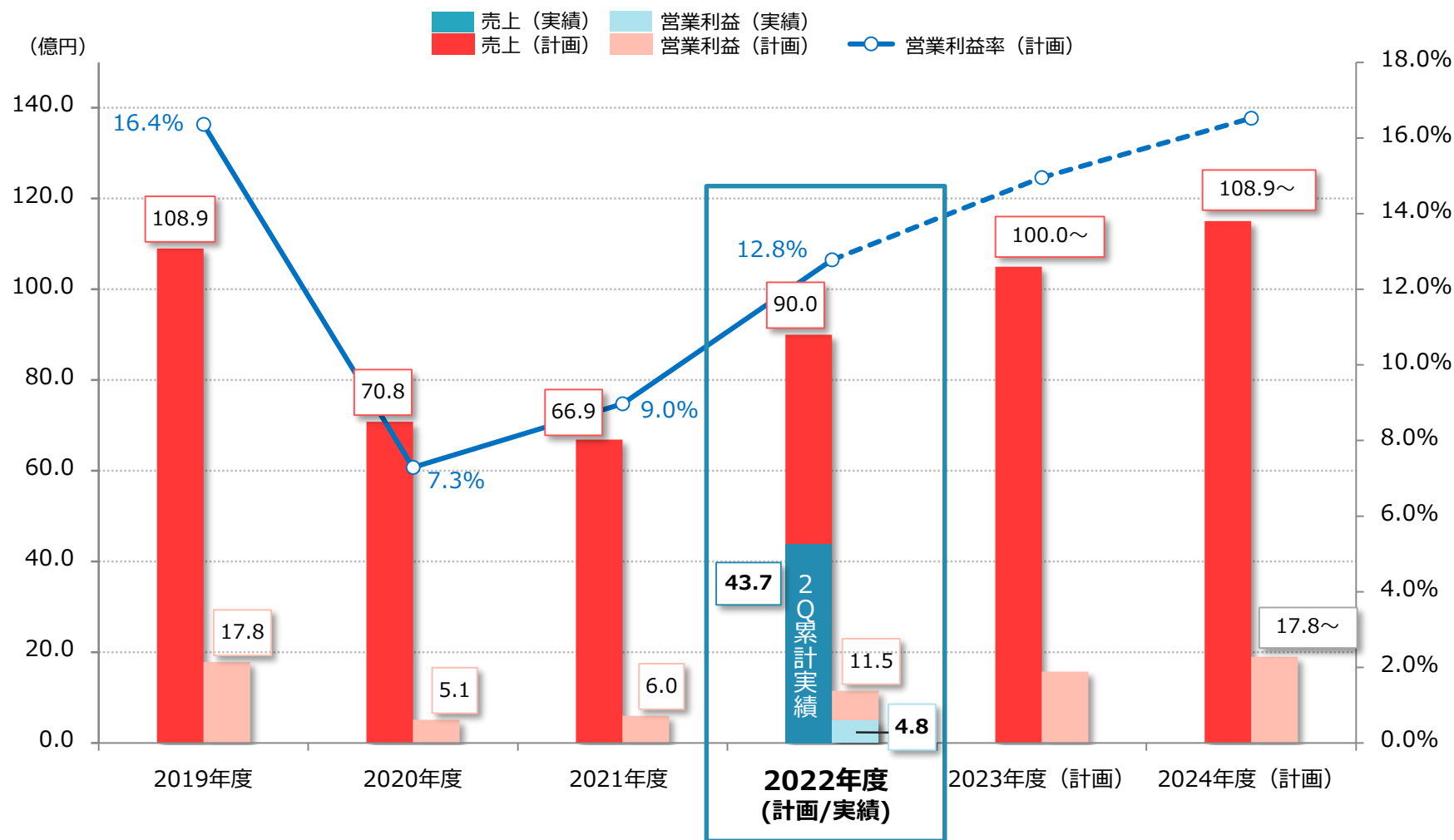
※2019年度より株式分割後（2分割）の配当金となっております

※2018年度以前の数値は各期を比較しやすいよう、株式分割後の金額にて記載しています

Strategies & Topics

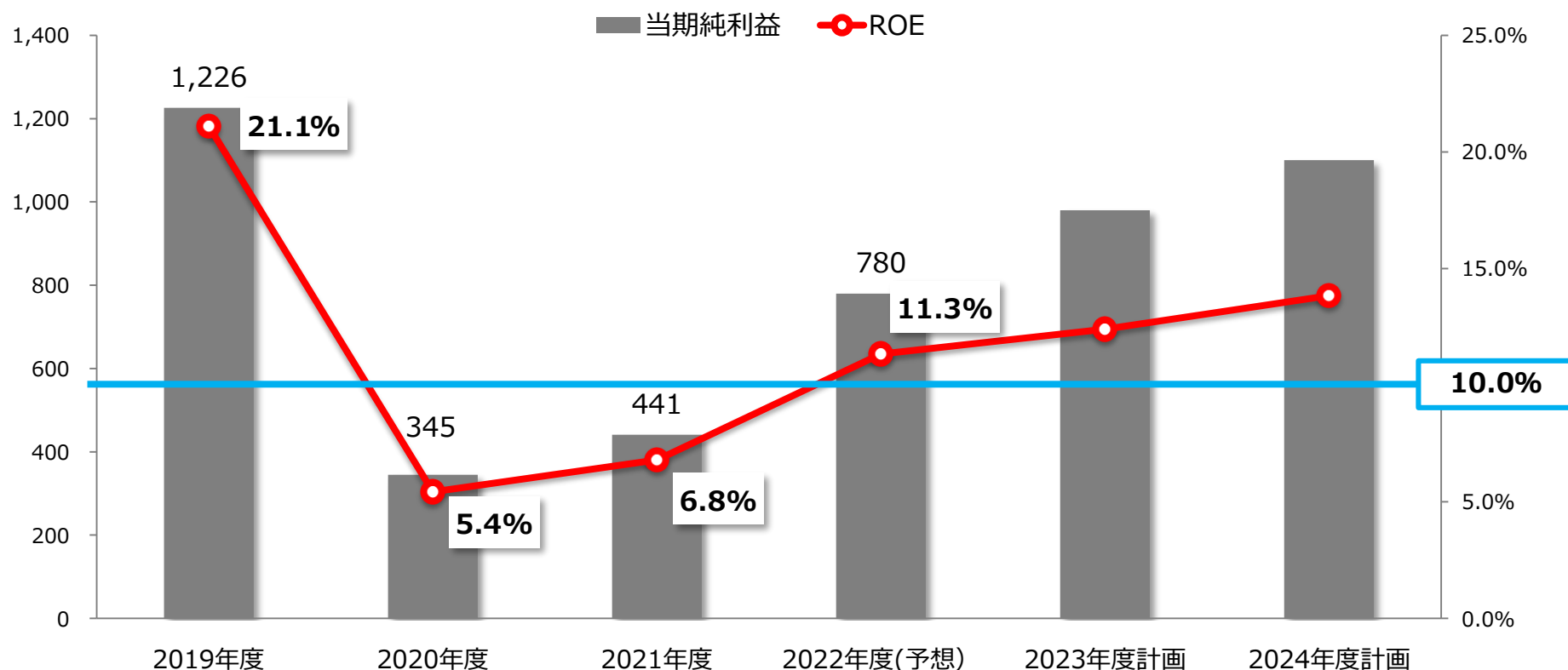
経営戦略・トピックス

今期計画は予定通り進捗、2024年度に過去最高を目指す



自己資本利益率（ROE）は、3年ぶりに2桁台へ

- ROE：2030年までに15%以上へ
- 配当性向：30%が基準 ⇒ 利益増により配当金増加へ



2022年度 主な展示会出展計画		開催期間
STF昭栄テクニカルフェア（三条）		開催済（4/21～22）
GrindingHub 2022（ドイツ）		開催済（5/17～20）
(株)共和工機 プライベートショー（沼津）		開催済（7/28～29）
(株)太陽工機 Open Factory 2022（長岡）		8/26～9/16予定（毎週金曜日）
AMB 2022（ドイツ）		9/13～9/17
JIMTOF 2022（東京）		11/8～11/13

GrindingHub 2022

開催日：2022年5月17日～20日
開催地：ドイツ／シュツットガルト



<出展機>
CNC立形複合研削盤
CVG-6



(株)共和工機 プライベートショー

開催日：2022年7月28日～29日
開催地：静岡県／沼津市



<出展機>
CNC立形複合研削盤
IGV-3NT



太陽工機 Open Factory 2022



今年は感染予防対策を徹底し、予約制で実施予定

開催予定日：2022年8月26日、9月2日、9日、16日（いずれも金曜日）

開催場所：太陽工機本社工場

出展機種：各種CNC立形複合研削盤、CNC円筒研削盤、CNC内面研削盤等



Vertical Mateシリーズ



CVGシリーズ



IGV-3NT



CGX25シリーズ

TAIYO KOKI

One machine, One answer

(証券コード : 6164)

IRに関する
お問い合わせ先

株式会社太陽工機 IR室

TEL: 0258-42-8808 URL: www.taiyokoki.com



【将来予測について】

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

【お取り扱い上のご注意】

本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。